

Geely (吉利汽車) の知財戦略: 全域AIと技術ライセンスで伸長する知財収益基盤とNEV展開の加速

エグゼクティブサマリ

事業概要: 吉利汽車控股有限公司 (Geely Automobile Holdings Limited) は、Geely Auto、Lynk & Co、ZEEKRなどのブランドを含む自動車グループとして、2025年に総販売台数3,024,567台を記録した。中国国内卸売販売台数は2,604,470台、輸出卸売販売台数は420,097台であった。新エネルギー車 (NEV) の販売台数は1,687,767台で、総販売台数の56%を占めた。ブランド別では、Geely Galaxyが1,235,807台、Lynk & Coが350,495台、ZEEKRが224,133台を販売した。海外市場ではGeelyブランド、Lynk & Co、ZEEKRなどが複数地域に展開され、Geely EX5、Geely EX2、Geely EX5 EM-iなどのモデルが海外市場向けに導入された。ZEEKRについては、2025年7月15日にGeelyとの合併契約が締結され、2025年12月22日に合併が完了し、Geelyの完全子会社となった[7][8]。

財務: 吉利汽車控股有限公司の2025年12月期売上高は345,232,201,000人民元であり、2024年12月期の275,910,484,000人民元から25%増加した[1]。売上原価は287,885,471,000人民元、売上総利益は57,346,730,000人民元、売上総利益率は16.61%であった[1][2]。当期純利益は16,628,326,000人民元、親会社の所有者に帰属する当期純利益は16,852,231,000人民元、基本的1株当たり利益は1.67人民元、希薄化後1株当たり利益は1.63人民元であった[1]。研究開発費は17,623,782,000人民元、資産化要件を満たさない研究開発コストと資産化された研究開発コストの合計額は21,869百万人民元であり、売上高に対する総研究開発費の比率は6.3%であった[1][2]。2025年末時点の現金および現金同等物は65,319百万人民元、制限付き銀行預金を含む総現金水準は68,217百万人民元であった[2]。

技術・知財: 同社は2025年に「Smart Geely 2025」戦略に基づく技術展開を完了し、運転支援、インテリジェントコックピット、電子アーキテクチャ、車両アーキテクチャ、バッテリー、電気駆動、スーパーエレクトリックハイブリッドを中心とした7つの垂直技術システムを構築した[3]。2025年には「全域AI (Full-domain AI)」技術体系の実装が進められ、Xingrui Intelligent Computing Centre 2.0、G-ASD 運転支援システム、Leishen AI Electric Hybrid 2.0、Eva超人間的感情エージェント、AI Digital Chassis、GEAアーキテクチャなどが車両および技術基盤に展開された[3][11]。研究開発サービスおよびライセンス収入は7,893,971,000人民元であり、技術および知的財産ポートフォリオから派生する収益源として、研究開発および関連する技術サポートサービスからの収益と、知的財産のライセンス供与からの収益が単一カテゴリーに統合された[3]。

戦略・成長: 2024年に発表された「台州宣言 (Taizhou Declaration)」では、「戦略的焦点 (Strategic Focus)」「戦略的統合 (Strategic Integration)」「戦略的シナジー (Strategic Synergy)」「戦略的安定性 (Strategic Stability)」「戦略的人材 (Strategic Talent)」の5つの戦略的柱が設定された[3]。2025年9月24日には、Geely Holding、ZEEKR、Viridi、Lotus Technology、Polestar AB、Polestar China、LEVC、smart、ECARX、Aurobay、LIVAN Automobile、YoeNing Technology、InfiMotion、Jiyao、Chunqing Ecologicalとの間で研究開発サービスおよび技術ライセンス契約が締結された[4]。同契約では、吉利汽車グループが関連会社に対して研究開発、技術検証、テスト、技術コンサルティング

グ、技術サポートサービス、技術ライセンス等を提供することが定められ、2025年から2027年までの受取および支払の年間上限額が設定された[4]。2026年には、Geely Auto Groupの2026年販売目標として345万台が設定されている[3]。

リスク・ESG: ESG戦略では、「気候ニュートラル (Climate Neutrality)」「ネイチャーポジティブ (Nature Positive)」「全域安全 (Full-domain Safety)」「デジタル化とイノベーション (Digitalization & Innovation)」「共栄 (Co-Prosperity)」「ガバナンスと倫理 (Governance and Ethics)」の6つの柱が設定されている[11]。気候変動対応では、2020年を基準年として車両のライフサイクルにおける1台あたり炭素排出量を2025年までに25%削減する目標を掲げ、2025年実績で削減目標を超過達成した[11]。また、2045年までにカーボンニュートラルを達成する目標を掲げている[11]。知的財産保護に関しては、最高人民法院により、WM Motor関連企業による技術秘密侵害について約6.4億人民元の賠償を命じる判決が公表された[27]。同社はCode of ConductおよびESG報告書において、知的財産保護、データおよび情報セキュリティ、外部法令遵守、内部管理規程に関する方針を示している[23][24]。

財務業績および研究開発投資実績

吉利汽車控股有限公司 (Geely Automobile Holdings Limited) が公表した2025年12月期通期実績 (決算発表資料) において、同社の売上高 (Revenue) は345,232,201,000人民元を記録した[1]。2024年12月期実績の275,910,484,000人民元と比較して、売上高は25%の増加として計上されている[1]。

売上原価 (Cost of sales) については、2024年12月期実績の230,106,735,000人民元に対して、2025年12月期実績は287,885,471,000人民元であった[1]。これに伴い、売上総利益 (Gross profit) は2024年12月期実績の45,803,749,000人民元から、2025年12月期実績においては57,346,730,000人民元となった[1]。売上総利益率 (Gross Profit Margin) は、2024年12月期実績の16.60%に対して、2025年12月期実績は16.61%であった[2]。また、その他の損益・純額 (Other gains/losses, net) は、2024年12月期の1,122,445,000人民元に対して、2025年12月期実績は6,166,981,000人民元として計上されている[1]。

売上高の内訳に関する実績について、HKFRS 15の範囲内にある顧客との契約から生じる収益の2025年12月期実績は以下の通り公表されている。自動車および関連サービスの販売 (Sales of automobiles and related services) は310,979,986,000人民元 (2024年12月期実績: 242,995,569,000人民元)、自動車部品およびコンポーネントの販売 (Sales of automobile parts and components) は19,846,725,000人民元 (2024年12月期実績: 18,466,865,000人民元)、協同製造収入 (Collaborative manufacturing income) は6,511,519,000人民元 (2024年12月期実績: 7,141,313,000人民元) であった[3]。研究開発サービスおよびライセンス収入 (Research and development services and licence income) は7,893,971,000人民元であり、2024年12月期実績の7,306,737,000人民元から増加している[3]。この収益分類について、当年度より研究開発および関連する技術サポートサービスからの収益と、知的財産のライセンス供与からの収益が、同グループの技術および知的財産ポートフォリオから派生する収益源として単一のカテゴリーに統合された旨が公式文書に注記されている[3]。収益認識のタイミング別では、一時点での認識 (At a point in time) が339,657,756,000人民元、一定期間にわたる認識 (Over time) が5,574,445,000人民元であった[3]。

費用項目に関する2025年12月期実績において、流通および販売費 (Distribution and selling expenses) は20,423,546,000人民元であり、2024年12月期の16,440,512,000人民元から増加して

いる[1]。売上高に対する流通および販売費の比率(Distribution & Selling Expenses Ratio)は、2024年12月期実績の6.0%に対して、2025年12月期実績は5.9%であった[2]。一般管理費(Administrative expenses)については、2024年12月期実績の6,250,031,000人民元に対し、2025年12月期実績は6,481,732,000人民元であった[1]。売上高に対する一般管理費の比率(Administrative Expenses Ratio)は、2024年12月期実績の2.3%に対して、2025年12月期実績は1.9%であった[2]。純金融収益(Finance income, net)は136,770,000人民元(2024年12月期: 312,006,000人民元)、関連会社に対する持分法投資損益(Share of results of associates)は757,646,000人民元(2024年12月期: 530,123,000人民元)、共同支配企業に対する持分法投資損益(Share of results of joint ventures)は1,641,312,000人民元(2024年12月期: 1,252,717,000人民元)として計上されている[1]。税引前利益(Profit before tax)は20,229,755,000人民元、法人所得税費用(Income tax expense)は3,601,429,000人民元の控除として計上され、当期純利益(Profit for the year)は16,628,326,000人民元(2024年12月期: 16,345,042,000人民元)であった[1]。このうち、親会社の所有者に帰属する当期純利益(Profit attributable to owners of the parent)は16,852,231,000人民元(2024年12月期: 16,811,878,000人民元)、非支配持分(Non-controlling interests)はマイナス223,905,000人民元(2024年12月期: マイナス466,836,000人民元)であった[1]。基本的1株当たり利益(Earnings per share - Basic)は1.67人民元、希薄化後1株当たり利益(Diluted)は1.63人民元であった[1]。また、親会社の所有者に帰属するコア利益(Core Profit Attributable to Owners of Parent)は14,413百万人民元であり、2024年12月期実績の10,611百万人民元から36%の増加として記録されている[2]。

研究開発投資に関して、吉利汽車控股有限公司の2025年12月期実績における研究開発費(Research and development expenses: 損益計算書上の費用計上分)は17,623,782,000人民元であり、2024年12月期実績の13,688,223,000人民元から増加している[1]。また、資産化要件を満たさない研究開発コストと資産化された研究開発コストの合計額(Total R&D Expenditure)は21,869百万人民元であり、2024年12月期実績の20,197百万人民元から8.3%の増加であった[2]。売上高に対する総研究開発費の比率(R&D Expenditure Ratio)は、2024年12月期実績の7.3%に対して2025年12月期実績は6.3%であった[2]。2025年中の資産化された製品開発コストの増加額は139.8億人民元であり、連結財政状態計算書上の無形資産に含まれている[3]。この支出の主要部分はインテリジェント新エネルギー車(NEV)モデルの開発に関連しており、残りの部分はインテリジェント技術等の関連分野の開発に充当されている[3]。既存製品に適用される新技術のうち未展開のプロジェクトに関する支出の大部分は資産化され、当該技術を使用した製品が市場に公式導入された後に、定期的に研究開発費として償却される会計方針が示されている[3]。

連結財政状態計算書における2025年12月31日時点の資産・負債実績は以下の通り公表されている。非流動資産のうち、無形資産(Intangible assets)の帳簿価額は36,446,096,000人民元(2024年12月31日時点: 35,625,297,000人民元)である[1]。土地リース前払金(Land lease prepayments)は3,998,462,000人民元、関連会社に対する持分(Interests in associates)は15,027,730,000人民元、共同支配企業に対する持分(Interests in joint ventures)は24,993,859,000人民元、前払金およびその他の債権(Prepayments and other receivables - 非流動)は5,227,173,000人民元、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産(Financial assets at FVOCI)は62,734,000人民元、繰延税金資産(Deferred tax assets)は10,871,082,000人民元であった[1]。流動資産について、棚卸資産(Inventories)は31,934,409,000人民元、売掛金(Trade receivables)は19,449,480,000人民元、受取手形(Notes receivable)は26,772,079,000人民元、前払金およびその他の債権(Prepayments and other receivables - 流動)は12,546,126,000人民元、前払法人所得税(Prepaid income tax)は493,526,000人民元、制限付き銀行預金(Restricted bank deposits)は2,898,009,000人民元、銀行預金および現金(Bank balances and cash)は65,319,279,000人民元であった[1]。流動負債について、買掛金(Trade payables)は80,972,517,000人民元、支払手形(Notes payable)は20,595,794,000人民元、その他の未払金および未払費用(Other payables and

accruals - 流動)は63,768,891,000人民元、デリバティブ金融負債(Derivative financial instruments)は82,000人民元、リース負債(Lease liabilities)は1,101,372,000人民元、銀行借入金(Bank borrowings - 流動)は10,495,822,000人民元、未払社債(Bonds payable - 流動)は1,500,000,000人民元、未払法人所得税(Income tax payable)は1,025,049,000人民元であった[1]。非流動負債のうち、その他の未払金および未払費用(Other payables and accruals)は6,467,277,000人民元、リース負債(Lease liabilities)は3,688,430,000人民元、銀行借入金(Bank borrowings)は4,320,000,000人民元、関連会社からの借入金(Loan from a related company)は0人民元、未払社債(Bonds payable)は2,000,000,000人民元、繰延税金負債(Deferred tax liabilities)は859,652,000人民元として計上されている[1]。資本の部における資本合計(Total equity)は93,615,208,000人民元(2024年12月31日時点: 93,991,252,000人民元)であった[1]。

2025年12月期におけるキャッシュフロー実績は、営業活動によるキャッシュフロー(Net cash generated from operating activities)が47,274百万人民元であった[2]。投資活動によるキャッシュフローのうち、資本的支出(Capital expenditure)はマイナス5,451百万人民元、その他の投資活動で使用された純現金(Net cash used in other investing activities)はマイナス17,920百万人民元として計上されている[2]。財務活動で使用された純現金(Net cash used in financing activities)はマイナス1,839百万人民元であった[2]。為替レート変動の影響(Foreign exchange rate changes)197百万人民元を含め、2025年末時点の現金および現金同等物(Cash & cash equivalents at the end of 2025)は65,319百万人民元であり、制限付き銀行預金の2,898百万人民元を合わせた2025年末時点の総現金水準(Total cash level at the end of 2025)は68,217百万人民元を記録している[2]。配当に関する実績および計画として、2025年12月期の1株当たり提案配当金(Proposed dividend per share)は0.50香港ドルであり、提案配当金総額(Proposed total dividend)は推定5.39十億香港ドルと記載されている[2]。

知的財産ライセンスおよび関連当事者間取引の実績

吉利汽車控股有限公司およびそのグループ企業は、研究開発サービスおよび技術ライセンスに関して複数の関連当事者間取引(Connected Transactions)契約を締結している。2025年9月24日、吉利汽車控股有限公司は、Zhejiang Geely Holding Group Co., Ltd.(吉利控股)、ZEEKR、Viridi、Lotus Technology、Polestar AB、Polestar China、LEVC、smart、ECARX、Aurobay、LIVAN Automobile、YoeNing Technology、InfiMotion、Jiyao、Chunqing Ecologicalとの間で「R&D Services and Technology Licensing Agreement(研究開発サービスおよび技術ライセンス契約)」を締結した[4]。この契約に基づき、吉利汽車グループはこれら関連会社に対して、自動車および主要部品の研究開発、技術検証およびテスト、技術コンサルティング、技術サポートサービス、技術ライセンス等を提供する[4]。契約期間は2027年12月31日までの3年間である[4]。本契約に基づき吉利汽車グループが受領する研究開発サービスおよびライセンス料の年間上限額(会社予想・計画)は、2025年が10,873.3百万人民元、2026年が12,466.9百万人民元、2027年が13,543.7百万人民元に設定されている[4]。一方、同グループが支払う研究開発サービスおよびライセンス料の年間上限額(会社予想・計画)は、2025年が6,012.2百万人民元、2026年が4,904.5百万人民元、2027年が5,347.5百万人民元である[4]。また同日、完成車(CBU)および完全ノックダウンキット(CKD)の調達協力契約「CBUs and CKDs Procurement Cooperation Agreement」も締結され、グループによる調達の年間上限額(会社予想・計画)は、2025年が75,319.5百万人民元、2026年が131,396.9百万人民元、2027年が167,120.3百万人民元に設定された[4]。この調達契約は、GeelyおよびLYNK & COブランドの新車両モデル導入に伴う生産能力不足に対応するためのものであると開示されている[4]。

。

米国証券取引委員会(SEC)のEDGARデータベースに提出されたZEEKR Intelligent Technology

Holding Limited (極氪) の開示書類 (Form F-1 および 20-F 等) によれば、同社の子会社である Zhejiang ZEEKR Intelligent Technology Co., Ltd. (浙江極氪) は、関連会社である Liankong との間で SEA (Sustainable Experience Architecture) 技術およびその他のインテリジェントドライビング関連技術の開発・生産・販売目的での利用に関するライセンス契約を締結している[5]。当該ライセンス契約におけるライセンス料の算定式は、「ブランド ZEEKR の各車両モデルの販売収益 × ライセンス料率 × アーキテクチャプラットフォーム技術貢献率 × 当月の当該プラットフォーム技術を用いた車両モデルの実際販売台数」と定義されている[5]。ライセンス料率は一定のパーセンテージが設定され、プラットフォーム技術貢献率は6ヶ月ごとに最新のコスト状況に基づいて当事者間で調整される規定となっている[5]。1台あたりの販売収益は市場のガイダンス価格を指し、毎年の市場計画に従って調整される[5]。

資本・出資関係における技術およびブランドの統合取引として、2024年11月14日付の株式譲渡契約 (Equity Transfer Agreement) および引受契約 (Subscription Agreement) により、Zhejiang ZEEKR は Geely Holding Group Co., Ltd. (GH) から LYNK & CO AUTOMOTIVE TECHNOLOGY CO., LTD. (領克) の株式20%を36億人民元で、Volvo Cars (China) Investment Co., Ltd. (VCI) から同社株式30%を54億人民元で取得する合意を形成した[6]。同時に、Zhejiang ZEEKR は LYNK & CO に対して新規登録資本として153,061,225人民元を引き受けた[6]。これにより、登録資本金は7,500,000,000人民元から7,653,061,225人民元に増加し、Zhejiang ZEEKR の出資比率は51%に到達し、同社を連結対象の非完全子会社とした[6]。残りの49%の権益は、吉利汽車控股有限公司の別の間接完全子会社が保有する構造となった[3]。さらに2025年7月15日には、吉利汽車控股有限公司と ZEEKR との間で合併契約 (Merger Agreement) が締結された[8]。この契約に基づき、Zeekr 株1株につき Geely 株1.23株を割り当てる条件を含む非公開化手続きが開始され、2025年12月22日に合併が完了し、ZEEKR は Geely の完全子会社となり、ニューヨーク証券取引所 (NYSE) における上場会社ではなくなった[7][8]。

グループ内の関連ブランドである Polestar の SEC 提出書類 (2024年12月31日時点) によれば、同社は知的財産保護戦略の一環として特許を取得しており、米国で136件、欧州で119件、中国で75件、その他の管轄区域で236件の特許を保有している実績が報告されている[9]。さらに、審査中の特許出願として米国20件、欧州71件、中国29件、その他37件を有していることが記載されている[9]。資金移動に関する開示において、ZEEKR Intelligent Technology から中国子会社への投資としての資金移転実績は、2021年に281.7百万米ドル (2,000.0百万人民元)、2022年に357.8百万米ドル (2,540.0百万人民元)、2023年に793.6百万米ドル (5,634.3百万人民元) であった[10]。また、スウェーデンに所在する CEVT に対する Zhejiang ZEEKR からの移転実績は、2022年に112.7百万米ドル (800.0百万人民元)、2023年に28.2百万米ドル (200.0百万人民元) であり、CEVT に支払われた研究開発サービス費用は、2022年に1,032.6百万 SEK、2023年に2,227.9百万 SEK であった[10]。

技術アーキテクチャおよび「全域AI」の実装状況

吉利汽車控股有限公司は、2021年に発表された「Smart Geely 2025 (インテリジェント吉利2025)」戦略に基づく展開を2025年に完了させた[3]。同戦略では、長期的なコア競争力を構築するために、運転支援 (assisted driving)、インテリジェントコックピット (intelligent cockpits)、電子アーキテクチャ (electronic architecture)、車両アーキテクチャ (vehicle architecture)、バッテリー (batteries)、電気駆動 (electric drives)、スーパーエレクトリックハイブリッド (super electric hybrid) を中心とした「7つの垂直 (seven vertical)」技術システムが確立された[3]。2025年における主要な技術展開として、「全域AI (Full-domain AI)」技術システムの実装が進められ、「星睿智算中心2.0 (Xingrui Intelligent Computing Centre 2.0)」等の技術基盤の構築、「G-ASD」運転支援システムの車両への公式導入、Leishen AI Electric Hybrid 2.0 の導入、Eva 超人的感情エージェント、AI デジタルシャーシ (AI

Digital Chassis)、およびGEAアーキテクチャの車両への展開が行われた[3]。これらは「全域安全2.0(Full-domain Safety 2.0)」技術との深い統合が進められている[11]。

2024年に発表された「台州宣言(Taizhou Declaration)」では、「戦略的焦点(Strategic Focus)」「戦略的統合(Strategic Integration)」「戦略的シナジー(Strategic Synergy)」「戦略的安定性(Strategic Stability)」「戦略的人材(Strategic Talent)」の5つの戦略的柱が設定された[3]。この宣言に基づき、内部リソースの統合と効率的な融合が推進され、重複投資を排除し、全体の競争力を高める方針が示されている[3]。

技術プラットフォームの開発実績として、Geely Auto Groupは複数のモジュラーアーキテクチャを展開している。CMA(Compact Modular Architecture)は、スウェーデンに設立されたCEVT(China Euro Vehicle Technology AB)において、25カ国以上から集まった2,000人以上のエンジニアが3年間の開発期間を経て構築したアーキテクチャである[14]。公式情報には、CMAの立ち上げ以降、同アーキテクチャに関連して609件の特許が取得された事実が記載されている[14]。BMA(B-segment Modular Architecture)は世界市場での利用を想定して独自開発されたコンパクトモジュラーアーキテクチャであり、約100人の専門家により4年の期間を経て開発された[14]。SEA(Sustainable Experience Architecture)の開発には、4年の期間と180億人民元を超える投資が行われた。このアーキテクチャはハードウェア層、システム層、エコロジカル層の3-in-1レイアウトを特徴とし、AセグメントからEセグメントまでの全サイズ的设计ニーズをカバーし、ソフトウェア定義型車両(SDV)の開発期間を50%以上短縮する設計帯域幅を有していると開示されている[14]。

バッテリー技術および安全性に関する実績として、自社開発のAegis Gold Brick Battery(神盾金砖電池)が、極限環境下での36の安全テストをクリアしたことが報告されている[11]。また、同社の31のモデルが国内外の安全認証を取得しており、C-NCAPで5つ星評価を獲得した販売中モデルは11モデル、Euro-NCAPで5つ星評価を獲得したモデルは8モデル、ANCAPは4モデル、ASEAN NCAPは8モデルとなっている[11]。

研究開発拠点・設計スタジオおよび試験施設の展開

Geely Auto Group(吉利汽車グループ)は、グローバルな研究開発・設計ネットワークを構築し、5万人以上の従業員を雇用している[15]。研究開発センター(R&D centers)は、中国・杭州(Hangzhou)、中国・寧波(Ningbo)、スウェーデン・ヨーテボリ(Gothenburg)、英国・コベントリー(Coventry)、ドイツ・フランクフルト(Frankfurt)の5カ所に設置されている[14]。杭州の研究開発センターは、車両および主要部品の研究、開発、テストを担当している[14]。寧波の研究開発センターは415エーカーの敷地面積を有し、車両、エンジン、トランスミッションの研究開発、テスト、品質管理、サプライヤーとの共同開発機能が統合されている[14]。スウェーデン・ヨーテボリの研究開発センターは、次世代自動車のモジュラーアーキテクチャおよびコンポーネントの開発と継続的改善に重点を置いている[14]。ヨーテボリにおいては、Geely Sweden Holdingの傘下で「Uni3 by Geely」と称される105,000平方メートルのキャンパスがLindholmen地域に構築されており、Volvo Car Group、Polestar、Volvo Group、Geely Europe Innovation and Collaboration AB(GEIC)等のグループ企業が拠点を構えている[18]。また、同地にはGeely Technology Europe AB(Geely Tech Europe)が所在し、グローバル車両プログラムの設計・プラットフォーム開発を行っている[19]。英国・コベントリーの研究開発および設計センターは2018年に設立され、新モデルの設計・機能のイノベーションに貢献している[14]。ドイツ・フランクフルトには、「Geely Europe Testing Base」が設立された[17]。

グローバルデザインスタジオ(Global design studios)は、中国・上海(Shanghai)、中国・寧波(Ningbo)、イタリア・ミラノ(Milan)、スウェーデン・ヨーテボリ(Gothenburg)、英国・コベントリー(

Coventry)の5カ所に拠点を構え、合計で1,000人以上の従業員が所属している[15]。イタリアの拠点は「Geely Auto Innovation Design Center Italy」としてミラノ中心部に開設され、コンセプトカーおよび市販車の研究開発プログラムを担当するとともに、グローバル市場戦略の支援拠点としての機能を持つことが公式発表されている[20]。

2025年には、中国・寧波において「Geely Global Comprehensive Safety Centre(吉利グローバル安全センター)」が稼働を開始した[11]。同センターは総敷地面積45,000平方メートルであり、20億人民元を超える初期投資が行われた[16]。施設内には、面積81,930.745平方メートルの自動車安全研究所、長さ293.39メートルの屋内自動車衝突試験トラック、面積28,536.224平方メートルで最高風速250km/hの高度・気候調整可能(雪・雨・日射シミュレーション)風洞が設置されている[16]。同センターは稼働に伴い、5つのギネス世界記録(GUINNESS World Records)のタイトルを獲得したことが公表されている[11][16]。テスト範囲は、高速衝突試験、歩行者保護、アクティブセーフティシミュレーション、バッテリーおよび新エネルギーパワートレインの安全性、サイバーセキュリティ、健康関連の安全性評価をカバーしている[16]。

また、吉利が構築したコンピューティングセンターに関して、公式プレスリリースでは102 exaFLOPSの演算能力を有し、350万台のコネクテッドビークルを同時にサポート可能であり、研究開発効率を20%向上させる機能を持つと記載されている[15]。一方で、年次報告書内の記述では、「星睿智算中心2.0(Xingrui Intelligent Computing Centre 2.0)」の演算能力は23.5 EFLOPSであると記載されている[21]。これら2つの数値は一次情報間で異なる数値として確認されるが、同一施設、同一世代、同一算定範囲の指標であるかどうかを特定する情報は確認できない。

サステナビリティ(ESG)およびエコシステム関連指標

吉利汽車控股有限公司の公式文書である「行動規範(Code of Conduct)」および「環境・社会・ガバナンス(ESG)報告書」において、知的財産管理および企業統治に関する方針が示されている。従業員はグループの知的財産を保護し、違法に取得、使用、または開示してはならない旨が規定され、機密情報の漏洩を防ぐための措置や、権利侵害および守秘義務違反に対する予防措置ならびに是正措置を講じることが要求されている[22]。データおよび情報セキュリティに関して、従業員管理、ビジネスプロセス制御、関連する技術的保護手段を通じてデータおよび情報の可用性、完全性、機密性を確保する方針が掲げられている[22]。

外部の法律、規制、および業界規範への遵守に基づき、「中華人民共和国専利法(Patent Law of the People's Republic of China)」および「中華人民共和国商標法(Trademark Law of the People's Republic of China)」を遵守していることが記載されている[24]。内部方針として「知的財産管理弁法(Intellectual Property Management Measures)」、「特許管理弁法(Patent Management Measures)」、「ドメイン名使用管理規範(Domain Name Usage Management Specifications)」、「車両プロジェクト向けオープンソースソフトウェア管理弁法(Open Source Software Management Measures for Vehicle Projects)」等の規定が発行され、知的財産管理の要件が明確化されている[24]。グループの知的財産管理部門(Intellectual Property Management Department)がグループの知的財産業務を調整し、各ビジネスユニットの知的財産管理およびリスクコントロールを担当する体制となっている[24]。

ESG戦略の方向性として、「気候ニュートラル(Climate Neutrality)」「ネイチャーポジティブ(Nature Positive)」「全域安全(Full-domain Safety)」「デジタル化とイノベーション(Digitalization & Innovation)」「共栄(Co-Prosperity)」「ガバナンスと倫理(Governance and Ethics)」の6つの柱が設定されている[11]。気候変動対応として、吉利は2020年を基準年として、車両のライフサイクルにお

ける1台あたりの炭素排出量を2025年までに25%削減する目標を掲げていたが、2025年実績においてこの削減目標を超過達成したことが報告されている[11]。また、2045年までにカーボンニュートラルを達成する目標を掲げている[11]。環境保護およびコンプライアンス管理の一環として、2025年には「森林破壊防止声明(Anti-Deforestation Statement)」「環境声明(Environmental Statement)」「生物多様性声明(Biodiversity Statement)」等のポリシーが発行された[11]。さらに、持続可能なサプライチェーンデューデリジェンス管理ポリシー(Sustainable Supply Chain Due Diligence Management Policy)が正式に発行され、すべての重大なESG課題と各サプライチェーン階層をカバーする責任あるビジネスデューデリジェンス管理プロセスが確立された[12]。

ガバナンス体制の一環として、2025年には新たに女性の独立非執行取締役1名が任命され、取締役会の女性比率30%の目標を達成している[11]。技術面におけるガバナンスの進展として、TÜV SÜDは2025年12月11日にGeely Automobile GroupへISO/IEC 42001「人工知能管理システム(Artificial Intelligence Management System)」認証を授与した[29]。また、車両エコシステムの構築に向け、低軌道衛星を用いた空間・地上統合移動エコシステムを推進しており、2022年から2025年の間に6回の衛星打ち上げを完了させ、64機の軌道上衛星を配置して第1フェーズのコンステレーション構築を完了した実績が公表されている[25]。

法的紛争・技術秘密侵害訴訟の公式記録

中国国内における知的財産保護の実績として、最高人民法院(Supreme People's Court)の公式データベースおよび公式発表にて、浙江吉利控股集团有限公司(Zhejiang Geely Holding Group Co., Ltd.)および浙江吉利汽車研究院有限公司(Zhejiang Geely Automobile Research Institute Co., Ltd.)が原告となった技術秘密侵害訴訟(Trade Secret Infringement Case)の最終判決結果が公表されている[26]。被告となったのは、威馬汽車科技集團有限公司(WM Motor Technology Group Co., Ltd.)、威馬汽車製造温州有限公司、威馬智慧出行科技(上海)股份有限公司、および威馬新能源汽車銷售(上海)有限公司の4社である[26]。

最高人民法院は二審において、被告らが不正な手段を用いて新エネルギー車分野の技術人材および技術リソースを組織的・計画的に大規模に引き抜き、原告の技術秘密を侵害したと認定した[26]。裁判の記録によれば、被告側は対象となった技術秘密に関連して、自社名義で実用新案(utility models)等の特許出願を行い、情報を違法に開示・使用したとされる。判決の結果、最高人民法院は2倍の懲罰的賠償(punitive damages)を適用し、被告4社に対して連帯して、経済的損失および権利保護のための合理的な支出の合計として約6.4億人民元(約8800万米ドル相当)を原告である吉利側に支払うよう命じた[26]。この約6.4億人民元という賠償額は、中国の知的財産権侵害訴訟において過去最高額を記録した旨が公式発表に記載されている[26]。また、本判決では、技術秘密侵害を停止するための民事責任の具体的な方式、内容、範囲のほか、侵害停止等の非金銭的給付義務の履行を拒否した場合の遅延損害金およびその計算基準について、司法判断が示された[26]。判決の確定を受け、威馬汽車関連企業は判決に基づく義務を履行し、人民法院報(People's Court Daily)において、浙江吉利控股集团有限公司および浙江吉利汽車研究院有限公司が保有する関連技術秘密の侵害を停止する旨の公告を掲載した[27]。

販売台数および市場実績

吉利汽車控股有限公司の2025年実績において、総販売台数(Total Sales Volume)は前年比39%増の3,024,567台を記録した[1]。この数値は、2024年12月期実績の2,176,567台から増加しており、年間目標として掲げられていた300万台を超過達成した[1]。中国国内および輸出市場を合わせた卸売販売台数ベースでの市場シェア(Market Share)は、2025年実績で10.05%に到達した[2]。

このうち、新エネルギー車（NEV：バッテリー電気自動車およびプラグインハイブリッド車）の販売台数は前年比90%増の1,687,767台に達し、総販売台数の56%を占めている[11]。ブランド別の販売実績として、メインストリーム市場を担うGeely Auto New Energy Lineup（吉利銀河：Geely Galaxy）は前年比150%増の1,235,807台を記録した[3]。Lynk & Coブランドは前年比23%増の350,495台、ZEEKRブランドの年間販売台数は224,133台であり、ZEEKRは12月単月で30,000台を超える販売を記録している[2][3]。内燃機関車（ICEV）の販売台数も前年比4%増の1,336,800台となっており、NEVとICEVの両部門で販売増を達成している[3]。個別モデルの販売実績として、Geely Galaxy M9は発売後4ヶ月未滿で累計販売台数39,000台を記録した[13]。

グローバル展開および輸出販売実績（海外販売台数）は、2025年に前年比1%増の420,097台に達した[3]。そのうち、NEVの輸出台数は前年比240%増の124,302台を記録している[3]。ブランド別の海外展開として、ZEEKRは4大陸の50カ国以上に進出しており、海外100カ所以上を含む世界約640の店舗を展開している[25]。また、海外市場向けには、Geely Xingyuanモデルが「Geely EX2」として、Geely E5モデルが「Geely EX5」として展開されていることが公表されている[25]。

2026年の最新の運用データ（Operation Data）によれば、2026年4月の月間総販売台数は235,164台（前年同月比フラット）、2026年5月の月間総販売台数は237,637台（前年同月比1%増）であった。2026年1月から5月までの累計販売台数（YTD）は1,182,159台であり、前年同期比1%増を記録している[28]。

開催予定・実施日	イベント名称	出典
2026-04-29	Geely Automobile Holdings Limited First Quarter 2026 Earnings Call	[28]
2026-03-18	Geely Automobile Holdings Limited 2025 Annual Results Announcement	[28]
2025-11-17	Geely Automobile Holdings Limited Third Quarter 2025 Earnings Call	[28]
2025-09-15	Extraordinary General Meeting (ZEEKR Merger Agreement Voting)	[8]

市場シェア・販売実績表（2025年実績）

ブランド・区分	2025年販売台数実績	前年比 / 備考	出典
Geely Auto（総販売台数）	3,024,567台	+39%（市場シェア10.05%）	[1][2]
Geely Auto（NEV販売）	1,687,767台	+90%（総販売台数の	[3][11]

ブランド・区分	2025年販売台数実績	前年比 / 備考	出典
台数)		56%)	
Geely Auto(輸出販売台数)	420,097台	うちNEV輸出は124,302台(+240%)	[3]
Geely Auto New Energy Lineup(吉利銀河)	1,235,807台	+150%	[3]
Lynk & Co	350,495台	+23%	[3]
ZEEKR	224,133台	12月単月で30,000台超	[2][3]
内燃機関車(ICEV)	1,336,800台	+4%	[3]

知財・技術ライセンス関連取引表

発生時期・完了年	対象プロジェクト / アクション	出典
2025-12-22	Geely Automobile Holdings LimitedによるZEEKR完全子会社化およびZEEKRの公開会社としての取引終了	[7]
2025-09-24	Geely HoldingおよびZEEKR等との「研究開発サービスおよび技術ライセンス契約」締結	[4]
2025-09-24	Geely Holdingおよび関連会社との「CBUおよびCKDの調達協力契約」締結	[4]
2025-07-15	Geely Automobile Holdings LimitedとZEEKRの「合併契約(Merger Agreement)」締結	[8]
2025年実績	ISO/IEC 42001(人工知能管理システム)認証の取得	[29]
2025年実績	「Sustainable Supply Chain Due Diligence Management Policy」の発行	[12]
2025年完了	「Smart Geely 2025」戦略の完了(全域AIおよびG-ASD運転	[3][11]

発生時期・完了年	対象プロジェクト/アクション	出典
	支援システムの導入完了)	
2024-11-14	Zhejiang ZEEKRによるLynk & Coの株式取得(出資比率51%へ引き上げ)	[6]
2024年中	威馬汽車関連企業が人民法院報に技術秘密侵害の停止公告を掲載(最高人民法院の判決履行)	[26][27]

組織・拠点表

拠点区分	所在地	役割・施設名	出典
グローバル研究開発センター	中国・杭州(Hangzhou)	車両および主要部品の研究開発・テスト	[14][15][17]
グローバル研究開発センター	中国・寧波(Ningbo)	Geely Global Comprehensive Safety Centre(45,000 m ²)	[14][15][16][17]
グローバル研究開発センター	スウェーデン・ヨーテボリ(Gothenburg)	Geely Technology Europe AB(Uni3 by Geelyキャンパス内)	[14][15][18][19]
グローバル研究開発センター	英国・コベントリー(Coventry)	新モデルの機能・設計イノベーション	[14][15][17]
グローバル研究開発センター	ドイツ・フランクフルト(Frankfurt)	Geely Europe Testing Base	[15][17][19]
グローバルデザインスタジオ	中国・上海(Shanghai)	デザインエコシステム連携	[15][16][17]
グローバルデザインスタジオ	中国・寧波(Ningbo)	デザインエコシステム連携	[15][16][17]
グローバルデザインスタジオ	スウェーデン・ヨーテボリ(Gothenburg)	デザインエコシステム連携	[15][16][17]
グローバルデザインスタジオ	英国・コベントリー(Coventry)	デザインエコシステム連携	[14][15][16][17]
グローバルデザイン	イタリア・ミラノ(Milan)	Geely Auto	[15][16][17][20]

拠点区分	所在地	役割・施設名	出典
タジオ		Innovation Design Center Italy	

未確認事項まとめ

- 吉利汽車控股有限公司 (Geely Automobile Holdings Limited) 単体としての、2025年12月期および2026年時点における特許保有総数ならびに新規特許取得件数(調査範囲内の公式決算資料・ESG報告書では具体的な特許件数の明記が確認できず)。
- 中国最高人民法院で争われた約6.4億人民元の技術秘密侵害訴訟において、侵害対象となったシャーシコンポーネントに関連する実用新案等の具体的な特許公報番号(ニュース記事等の二次情報からの到達可能性はあるが、一次情報として調査範囲内では確認できず)。
- G-ASD(ドライバー支援システム)、Aegis Gold Brick Battery(神盾金磚電池)、および各種モジュラーアーキテクチャ(BMA, SEA等)に付随する個別特許の出願番号および審査ステータスの詳細(今回の調査では未確認)。
- 吉利が保有するコンピューティングセンターの演算能力について、公式プレスリリース[15]では102 exaFLOPS、年次報告書[21]では星睿智算中心2.0が23.5 EFLOPSと記載されており、同一施設、同一世代、同一算定範囲の指標であるかどうかの特定に足る情報が確認できず。

引用文献

1. 吉利汽車控股有限公司 GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LIMITED - 2025 Annual Results Announcement - HKEXnews, <https://www1.hkexnews.hk/listedco/listconews/sehk/2026/0318/2026031800309.pdf>
2. Presentation on 2025 Annual Results - Geely Automobile Holdings Limited, https://www.geelyauto.com.hk/wp-content/uploads/2026/03/e_2025-annual-results-presentation_20260318.pdf
3. Annual Report 2025 - Geely Automobile Holdings Limited, https://www.geelyauto.com.hk/wp-content/uploads/2026/04/e00175_2025-annual-report.pdf
4. Non-exempt Continuing Connected Transactions - GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LIMITED, https://www.geelyauto.com.hk/wp-content/uploads/2025/09/20250924-Announcement-on-CCTs_E.pdf
5. ZEEKR Intelligent Technology Holding Limited - SEC filing regarding SEA licensing arrangement, <https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1954042/000110465923009060/filename4.htm>
6. ZEEKR Intelligent Technology Holding Limited - Exhibit 99.4 - SEC.gov, https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1954042/000110465924121207/tm2428708d2_ex99-4.htm
7. Zeekr Group Announces Completion of Merger, <https://www.prnewswire.com/news-releases/zeekr-group-announces-completion-of-merger-302647823.html>
8. ZEEKR Merger Agreement related SEC filing,

- https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1954042/000110465925073653/tm2522463d1_ex99-1.htm
9. Polestar Automotive Holding UK PLC Annual Report 2024 - SEC.gov, <https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1884082/000188408225000012/psny-20241231.htm>
 10. ZEEKR Intelligent Technology Holding Limited Prospectus - SEC.gov, https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1954042/000110465924059882/tm229938-35_424b4.htm
 11. Geely Automobile Holdings Limited 2025 ESG Report - HKEXnews, <https://www.hkexnews.hk/listedco/listconews/sehk/2026/0428/2026042800005.pdf>
 12. 2025 Environmental, Social and Governance Report - Geely Automobile Holdings Limited, <https://www.geelyauto.com.hk/wp-content/uploads/2026/04/2025-Environmental-Social-and-Governance-Report202604280550.pdf>
 13. 2025 Annual Report Chinese version - Geely Automobile Holdings Limited, https://www.geelyauto.com.hk/wp-content/uploads/2026/04/c00175_2025-annual-report.pdf
 14. Brand - Geely Global, <https://www.geely.com/en/brand>
 15. Geely gains recognition as a global automotive innovation leader, captures the top spot among Chinese brands and number two ranking worldwide in 2024, <https://www.geely.com/en/news/2024/geely-global-automotive-innovation-leader>
 16. Geely Opens World's Largest Vehicle Testing Centre, <https://www.geely.com/en/news/2025/geely-opens-world-largest-testing-centre>
 17. Geely Auto initiated the 'Five by Five' Globalization Strategy and unveiled its new AI Powered, Six-Seater Flagship SUV, <https://www.geely.com/en/news/2025/geely-auto-five-by-five-globalization-strategy-ai-powered-flagship-suv>
 18. About - Geely Sweden Holding, <https://geelyswedenholdings.com/GeelySwedenHolding>
 19. Geely Technology Europe, <https://www.geelytech.eu/en>
 20. Geely Auto Opens a New Design Center in Milan, <https://www.geely.com/en/news/2023/geely-design-center-milan>
 21. 2024 Annual Report Chinese version - Geely Automobile Holdings Limited, https://www1.hkexnews.hk/listedco/listconews/sehk/2025/0428/2025042800040_c.pdf
 22. Geely Automobile Holdings Limited Code of Conduct, <https://www.geelyauto.com.hk/wp-content/uploads/2024/04/20240425-0175-Code-of-Conduct-EN.pdf>
 23. 2025 Environmental, Social and Governance Report - Geely Automobile Holdings Limited, <https://www.geelyauto.com.hk/wp-content/uploads/2026/04/2025-Environmental-Social-and-Governance-Report202604280550.pdf>
 24. 2025 Environmental, Social and Governance Report - HKEXnews, <https://www1.hkexnews.hk/listedco/listconews/sehk/2026/0428/2026042800005.pdf>
 25. Geely Constellation Completes Sixth Launch, 64 Satellites Deployed in Orbit, <https://www.geely.com/en/news/2025/geely-constellation-sixth-launch-deployment-64-satellites-orbit>
 26. “新能源汽车底盘”技术秘密侵权案败诉方积极主动履行判决 - 最高人民法院, <https://www.court.gov.cn/zixun/xiangqing/436111.html>
 27. 让知产力绽放新质生产力 | 商业秘密侵权案判赔6.4亿, 最高法承办法官谈案件信号,

<https://ipc.court.gov.cn/zh-cn/news/view-3250.html>

28. Geely Automobile Holdings Limited - Operation Data and IR Calendar,

<https://www.geelyauto.com.hk/>

29. TÜV SÜD授予吉利汽车ISO/IEC 42001人工智能管理体系认证证书,

<https://www.tuvsud.cn/zh-cn/press-and-media/2025/december/tuv-sud-has-awarded-geely-automobile-the-iso-iec-42001-certification>